

# 令和2年度第2回富士見市いじめのない学校づくり委員会 会議録要旨

【日時】 令和2年10月12日（月） 14：00～16：30

【開催場所】 富士見市教育委員会 会議室

【出欠状況】

|    |    |    |     |    |
|----|----|----|-----|----|
| 小林 | 塚田 | 長堀 | 忽滑谷 | 発田 |
| ○  | ○  | ○  | ○   | —  |

【事務局】

学校教育課長 教育相談室長 指導主事1名

【次第】

- 1 開 会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告事項  
(1) 令和2年度 富士見市立学校におけるいじめ等の状況について
- 5 議 題  
(1) 「いじめのない学校づくり」について  
(2) コロナ禍での不登校対策について
- 6 事務連絡  
令和2年度富士見市いじめのない学校づくり委員会  
・第3回富士見市いじめのない学校づくり委員会  
令和3年2月15日（月） 14：00 富士見市教育委員会会議室
- 7 閉 会（副委員長）

## 【議事】

### (1) 「いじめのない学校づくり」について

【事務局】 コロナ禍においても、各学校ではあいさつ運動の工夫や、コロナによる差別、いじめ防止の取組を行っている。現在各校で行っている取組を含め、「いじめのない学校づくり」を推進していくための効果的な取組について御意見を伺いたい。

【委員】 いじめを認知した後、学年や生徒指導部等、組織で対応することはもちろん、「誰が、どのように対応したか」まで記録をとることが大切。

【委員】 児童生徒の情報やいじめ等の「情報共有」はよく行われているが、共有をした後、「どのような対応をするか」まで話し合いが行われているか。

『ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）は、調（調整）理（理解）して確認』と表現した方もいる。報告、連絡、相談があったら、調整して役割を理解したか確認し、最後に結論を把握することがたいせつである。

### (2) コロナ禍での不登校対策について

【事務局】 4，5月が臨時休業となり、分散登校を経て通常登校となった。分散登校の期間、これまで不登校傾向だった児童生徒が登校をした事例もあったが、9月頃から不登校に関する相談が相談室に多く入るようになってきている。

感染が不安で登校ができない子どもの支援も含め、コロナ禍での不登校対策について御意見を伺いたい。

【委員】 感染症予防で、マスクをつけることやソーシャルディスタンスを保つことが、対人不安を和らげることにもなっているのではないか。

【委員】 新型コロナウイルスは子どもだけではなく、保護者も不安になっている。感染不安で出席停止となっている子どもについても、長期化している場合は支援が必要。

【委員】 いじめについては、コロナ禍が済んだ後が心配である。

- 【事務局】 適応指導教室に通室する子どもも、2学期になり増えている。  
通室している子どもの担任が様子を見に来たことで、本人も喜んで  
いた。また、体を動かす活動を取り入れたことで、通室生の表情が明る  
くなり、友だちとの関わりが増えた。
- 【委員】 適応指導教室では、勉強する場とボードゲーム等をする場を分けてい  
るが、あえて同じ教室で行うことを好む子どももいる。同じ場にいる  
ことで安心感をもっているのではないか。
- 【委員】 学校に来ている子どももストレスが溜まっている。  
緊急事態宣言で外出が禁じられ、学校が始まってからも感染予防に加  
え、教育課程の精選により、学校行事も変更されている。  
このような中、学校の居心地をどう良くしていくかが大切である。  
特別活動（学校行事等）で持ち直す子どももいる。授業日数が減じた  
中ではあるが、学習内容を急いで詰め込んだり、特別活動を安易に削  
減したりすることがないようにしてほしい。